

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2023年12月期 第2四半期決算-



2023年8月9日
東京応化工業株式会社

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

目次

- 1. 2023年12月期第2四半期 サマリー p.2
- 2. 2023年12月期第2四半期業績 p.3
- 3. 2023年12月期業績予想 p.9
- 4. tok中期計画2024の取組み p.16



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2023年12月期 第2四半期実績

- 業績予想の下方修正を実施（2023年7月28日）。
- 売上高は、前年比70億円（△8.3%）減収の776億円。
急速な市況の冷え込みによる影響を受け、減収で着地。
- 営業利益は、前年比39億円（△26.4%）減益の109億円。
売上高の減少に加え、経費の増加による影響が重なり、大幅な減益。

2023年12月期 業績予想

- 前提条件：
本格的な在庫調整の解消は、年後半以降となる可能性が高いが、生成AIやスマートフォンの最新機種投入等により、一部市場の回復を見込む。
- 上期の業績結果および、足元の市況を鑑み、通期の業績予想の下方修正を実施。前年度より減収減益を予想。
売上高1,640億円（△6.5%）、営業利益235億円（△22.1%）。

株主還元

- 連結純資産配当率（DOE）4.0%を目途とする配当方針のもと、中間配当 82円。年間配当 164円を予想。
- 6期連続の増配予想を堅持。

・ 2023年3月1日に、一部を除く装置事業をAIメカテック社に事業譲渡しております。

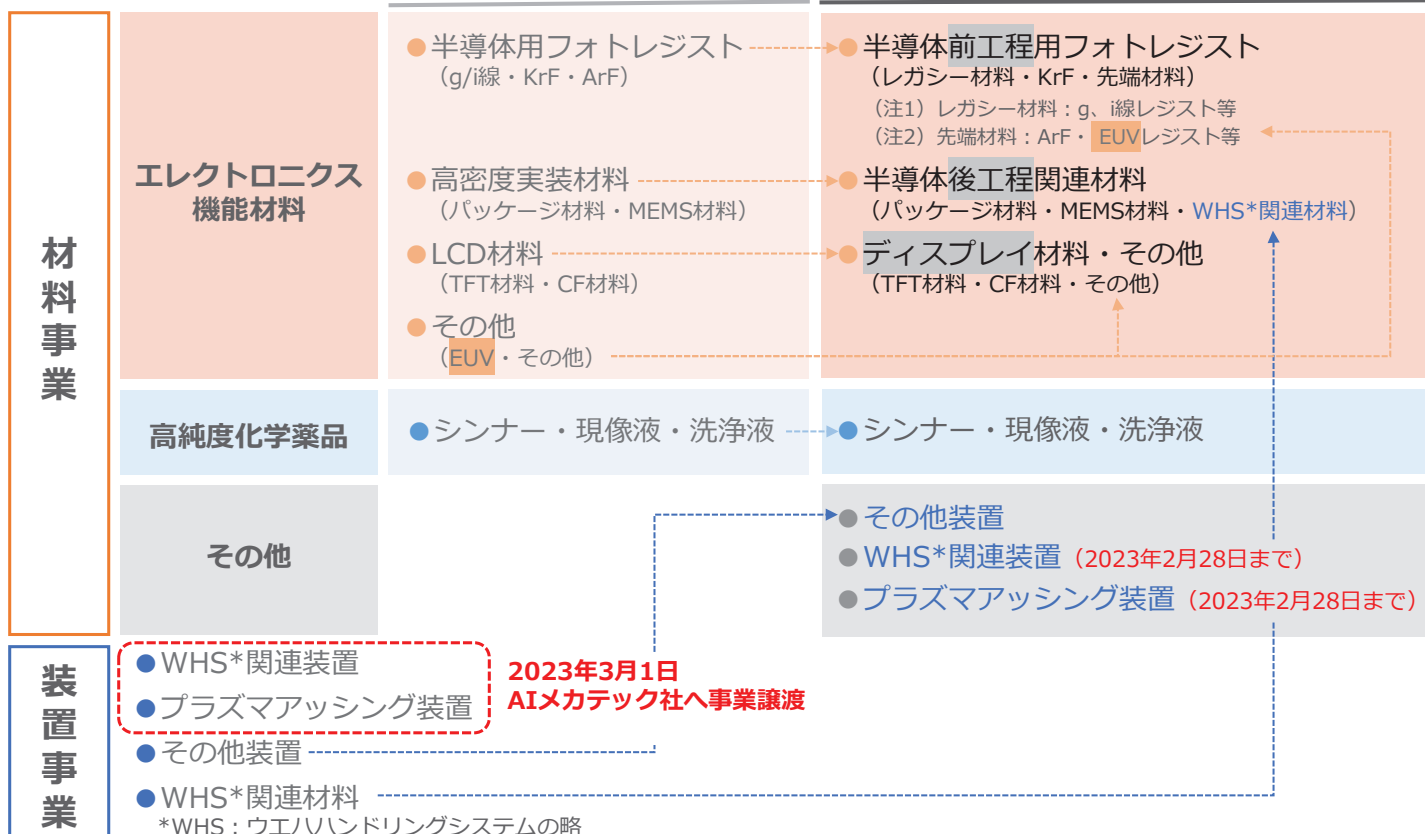
© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok

装置事業譲渡に伴うセグメント開示の変更について

22年度までのセグメント

23年度以降のセグメント



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績概要

(百万円、%)

	2022/6	2023/6	2023/6	
			増減	増減率
売上高	84,711	77,674	△7,037	△8.3
営業利益	14,810	10,904	△3,906	△26.4
経常利益	15,353	11,806	△3,547	△23.1
親会社株主に 帰属する四半期純利益	9,723	5,355	△4,368	△44.9
EBITDA	17,963	14,691	△3,272	△18.2

期中平均為替 (USドル) : 122.2円/ドル (2022/6) ⇒ 134.2円/ドル (2023/6)

- **売上高** : 急速な半導体需要の減速を受け前年比△8.3%の減収。
- **営業利益** : 売上高の減少や、人件費等の上昇による経費増加により前年比△26.4%の減益。
- **四半期純利益** : 営業利益の減少や事業再編費用の計上により、前年比△44.9%の減益。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績進捗

(百万円、%)

	2022/6	2023/6	2023/6			
			増減	増減率	期初計画	進捗率
売上高	84,711	77,674	△7,037	△8.3	89,000	87.3
エレクトロニクス機能材料*	45,153	41,848	△3,305	△7.3	47,500	88.1
高純度化学薬品*	37,213	34,865	△2,348	△6.3	40,500	86.1
その他*	2,343	959	△1,384	△59.1	1,000	95.9
営業利益	14,810	10,904	△3,906	△26.4	14,800	73.7

期中平均為替 (USドル) : 122.2円/ドル (2022/6) ⇒ 134.2円/ドル (2023/6)

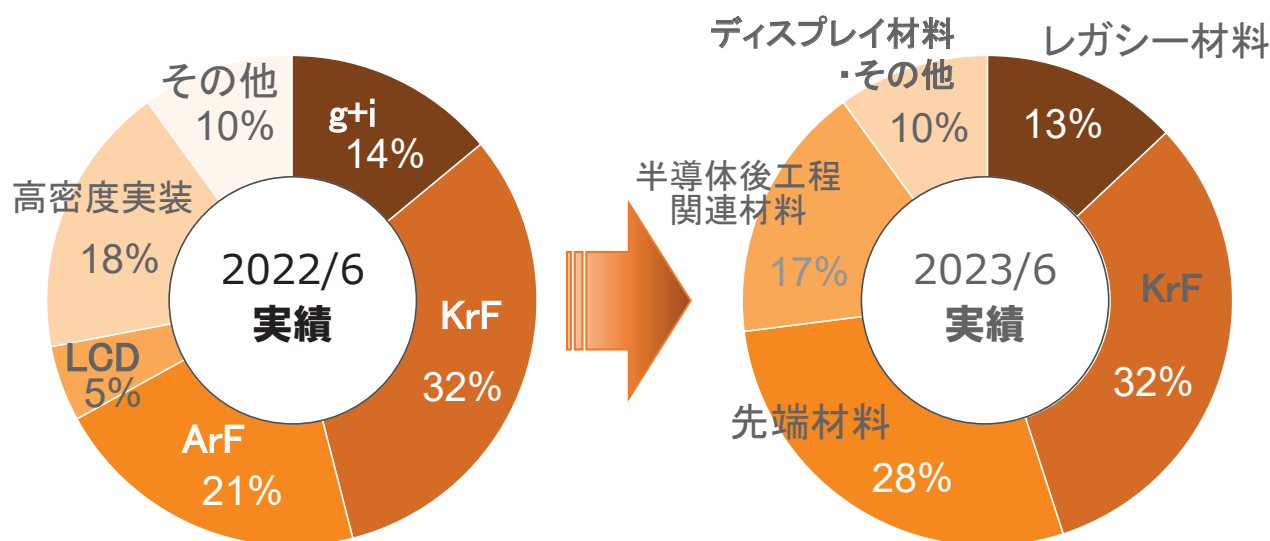
*2022年6月期は、新セグメントに換算した数値。

- **売上高** : 半導体需要の急速な減速により、エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品共に売上高が減少し、期初計画進捗率87.3%。
- **エレクトロニクス機能材料 (売上高)** : 半導体前工程用フォトレジストや半導体後工程関連材料のシェア向上もありつつも、半導体需要の急速な減速を受け、期初計画進捗率88.1%と低調に推移。
- **高純度化学薬品 (売上高)** : 新興市場向けは、堅調に推移したが、それ以外の地域顧客の工場稼働率の低下や、新工場の稼働時期の遅延等の影響を受け、期初計画進捗率86.1%と低調に推移。
- **営業利益** : 売上高の減少に加え、人件費等の経費増加により期初計画進捗率73.7%。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



(注1) 2022年12月期は、旧セグメントで計算。

(注2) 2022年12月期は、EUVレジストはその他に区分。

(注3) 高密度実装：パッケージ材料、MEMS材料。

(注4) 2023年12月期は、新セグメントで計算。

(注5) レガシー材料：g、i線レジスト等。

(注6) 先端材料：ArF・EUVレジスト等。

(注7) 半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料。

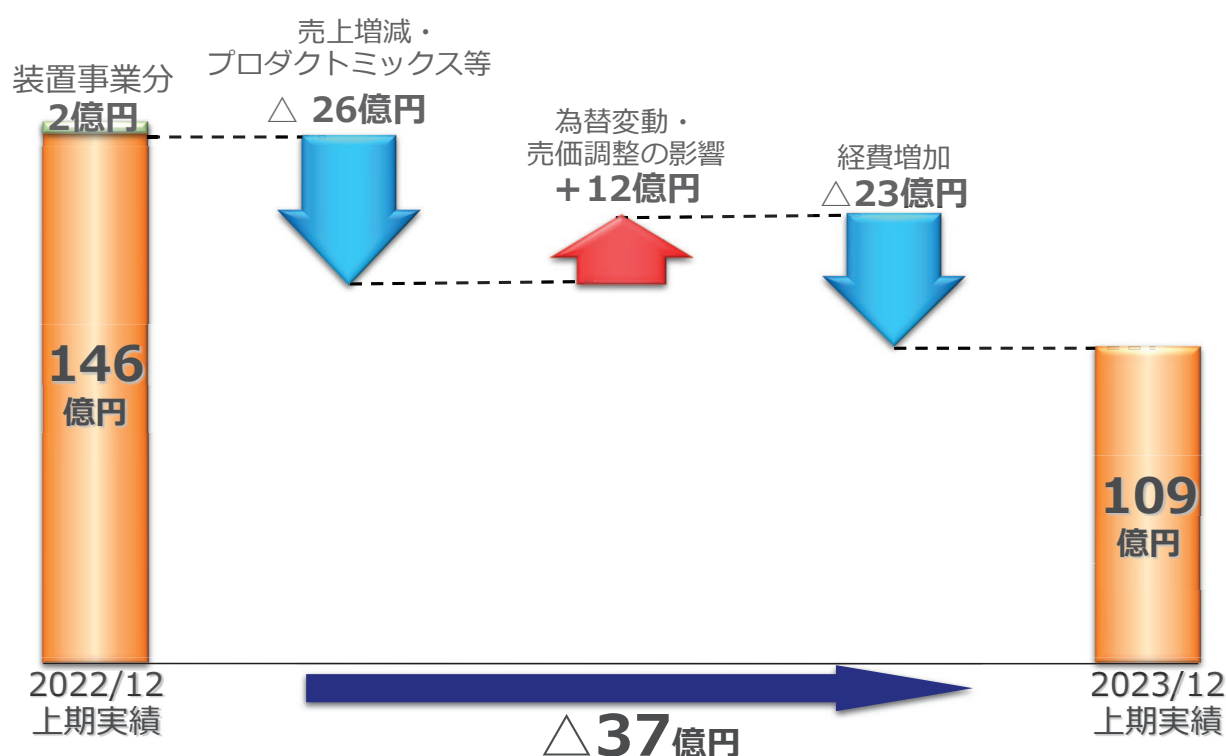
(注8) LCD材料を、ディスプレイ材料・その他に区分。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

営業利益の増減内訳

2022年12月期上期実績 対 2023年12月期上期実績



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

営業外損益・特別損益

(百万円)

	2022/6	2023/6	増減
営業外損益	+543	+902	+359
受取利息・配当金	+315	+433	+118
為替に係る差損益	+225	+302	+77
為替差損益	+553	+370	△183
デリバティブ評価損益	△328	△67	+261
特別損益	△89	△1,504	△1,415
固定資産売却益	—	+219	+219
固定資産除却損	△89	△47	+42
事業譲渡損	—	△1,720	△1,720



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2023年12月期業績予想



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績予想概要（通期）

(百万円、%)

	2022/12	2023/12				
		修正計画	増減	増減率	期初計画	期初計画比
売上高	175,434	164,000	△11,434	△6.5	187,500	△12.5
営業利益	30,181	23,500	△6,681	△22.1	31,000	△24.2
経常利益	30,966	25,000	△5,966	△19.3	31,600	△20.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	19,693	13,500	△6,193	△31.5	19,400	△30.4
EBITDA	36,943	31,300	△5,643	△15.3	38,300	△18.3
ROE (%)	12.1	7.7	△4.4	—	11.0	—

期中平均為替 (USドル) : 130.6円/ドル (2022/12) ⇒ 135.0円/ドル (2023/12)

- 売上高 : 一部半導体市場の回復を見込むものの、上期業績結果による影響により、前年比△6.5%の減収を予想。
- 営業利益 : 売上高の減少に加え、経費増加の影響により、前年比△22.1%の減益を予想。
- 当期純利益 : 営業利益の減少に加え、事業再編費用の計上により、前年比△31.5%の減益を予想。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

業績予想詳細（通期）

(百万円、%)

	2022/12	2023/12				
		修正計画	増減	増減率	期初計画	期初計画比
売上高	175,454	164,000	△11,434	△6.5	187,500	△12.5
エレクトロニクス機能材料*	92,799	88,500	△4,299	△4.6	98,750	△10.4
高純度化学薬品*	77,565	73,600	△3,965	△5.1	86,150	△14.6
その他*	5,069	1,900	△3,169	△62.5	2,600	△26.9
営業利益	30,181	23,500	△6,681	△22.1	31,000	△24.2

期中平均為替 (USドル) : 130.6円/ドル (2022/12) ⇒ 135.0円/ドル (2023/12)

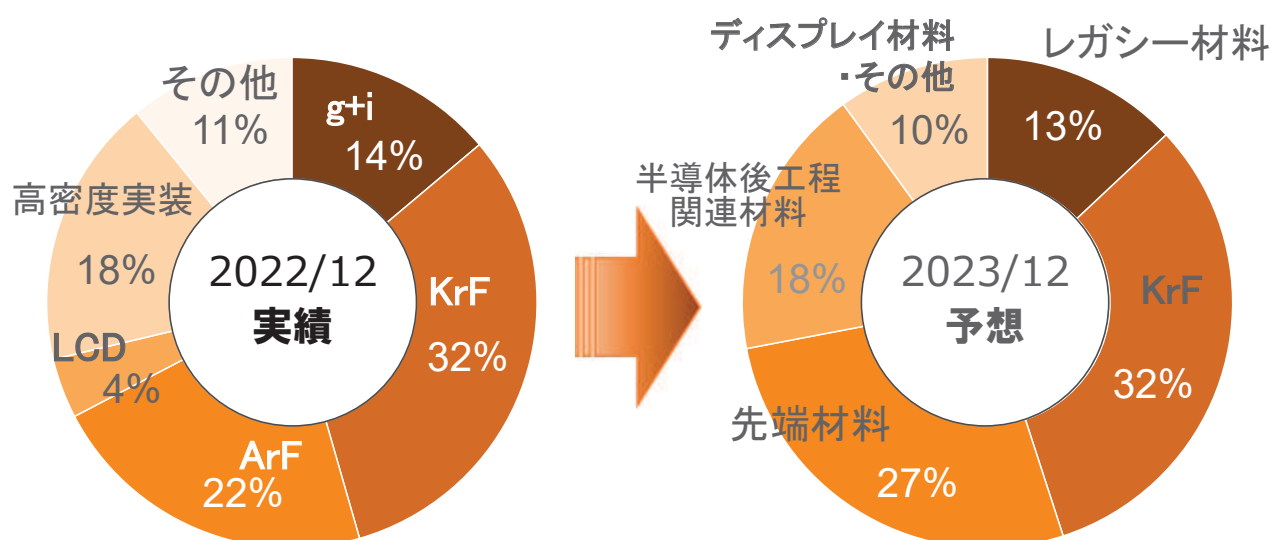
*2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。

- エレクトロニクス機能材料（売上高）
: 半導体後工程関連材料の売上回復が見込まれるものの、半導体前工程用フォトレジストの回復時期が年後半になることを想定し、前年比△10.4%の減収を予想。
- 高純度化学薬品（売上高）
: 一部用途向けの稼働率の回復が見込まれるものの、全体的な回復時期が年後半にずれ込むことを想定し、前年比△14.6%の減収を予想。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



(注1) 2022年12月期は、旧セグメントで計算。

(注2) 2022年12月期は、EUVレジストはその他に区分。

(注3) 高密度実装：パッケージ材料、MEMS材料。

(注4) 2023年12月期は、新セグメントで計算。

(注5) レガシー材料：g、i線レジスト等。

(注6) 先端材料：ArF・EUVレジスト等。

(注7) 半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料。

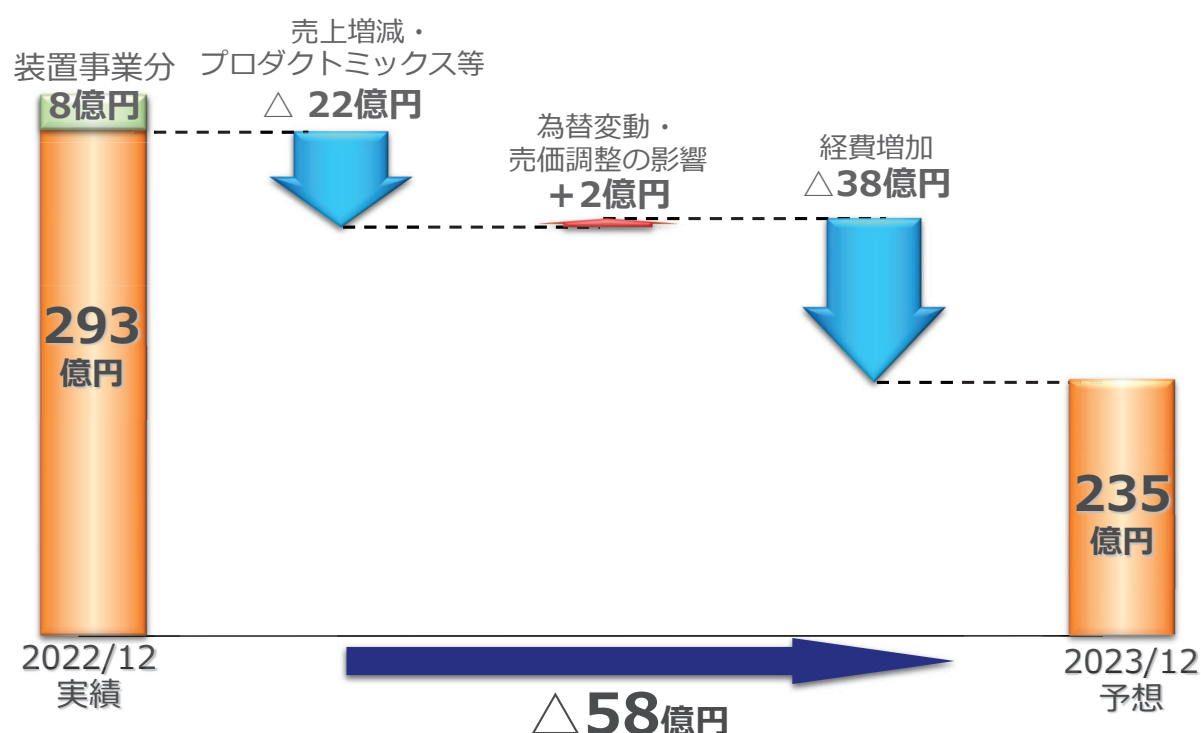
(注8) LCD材料を、ディスプレイ材料・その他に区分。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

営業利益の増減内訳

2022年12月期実績 対 2023年12月期予想

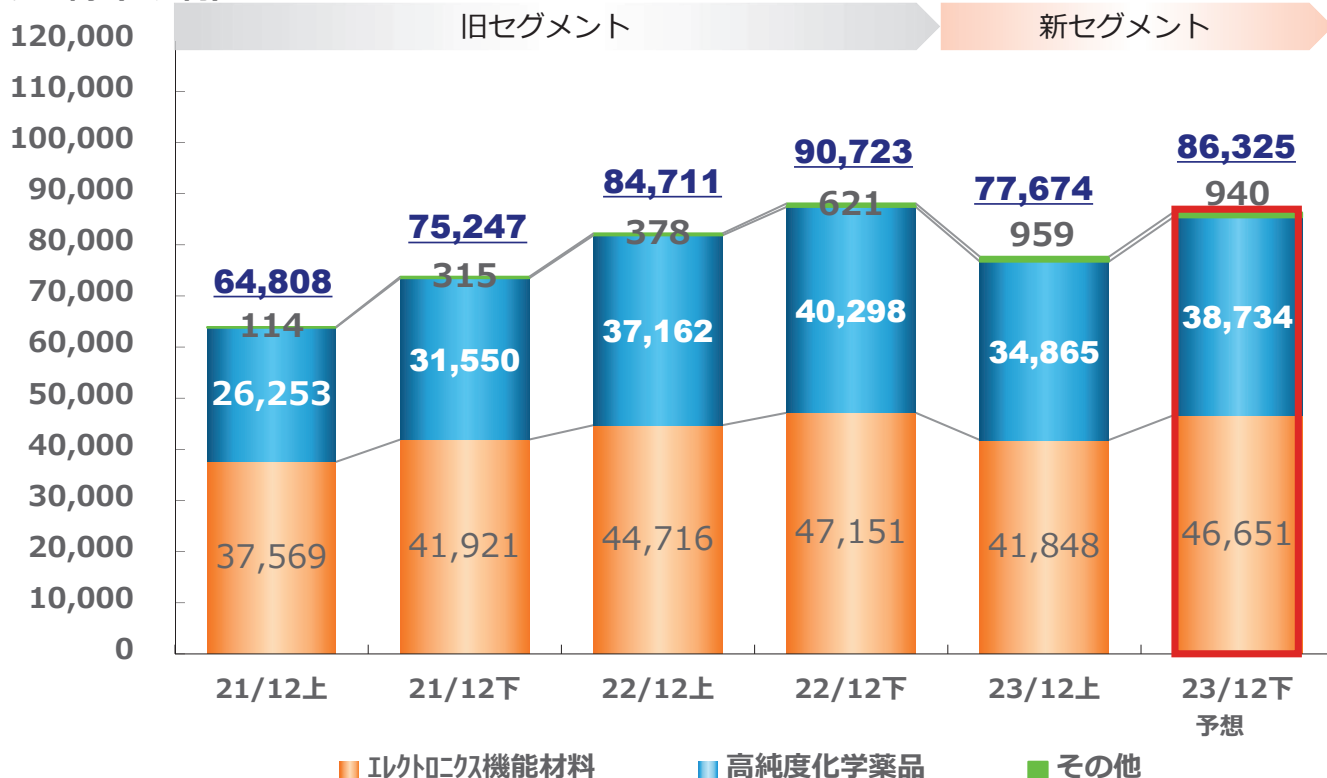


tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

売上予想：部門別

売上高（百万円）



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

設備投資・減価償却・研究開発進捗

(百万円、%)

	2022/6 実績	2023/6 実績	期初計画 進捗率	2022/12 実績	2023/12 修正計画	前年比	期初計画
設備投資等	6,809	6,380	34.3	14,514	17,400	+2,885	18,600
減価償却費	3,152	3,786	51.9	6,762	7,800	+1,037	7,300
研究開発費	5,217	6,038	47.0	11,038	12,600	+1,561	12,850

- 設備投資等：一部投資の遅れがあるものの、中期計画に沿った投資を実施予定。
- 減価償却費：おおむね計画通りに推移。
- 研究開発費：おおむね計画通りに推移。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024の取組み

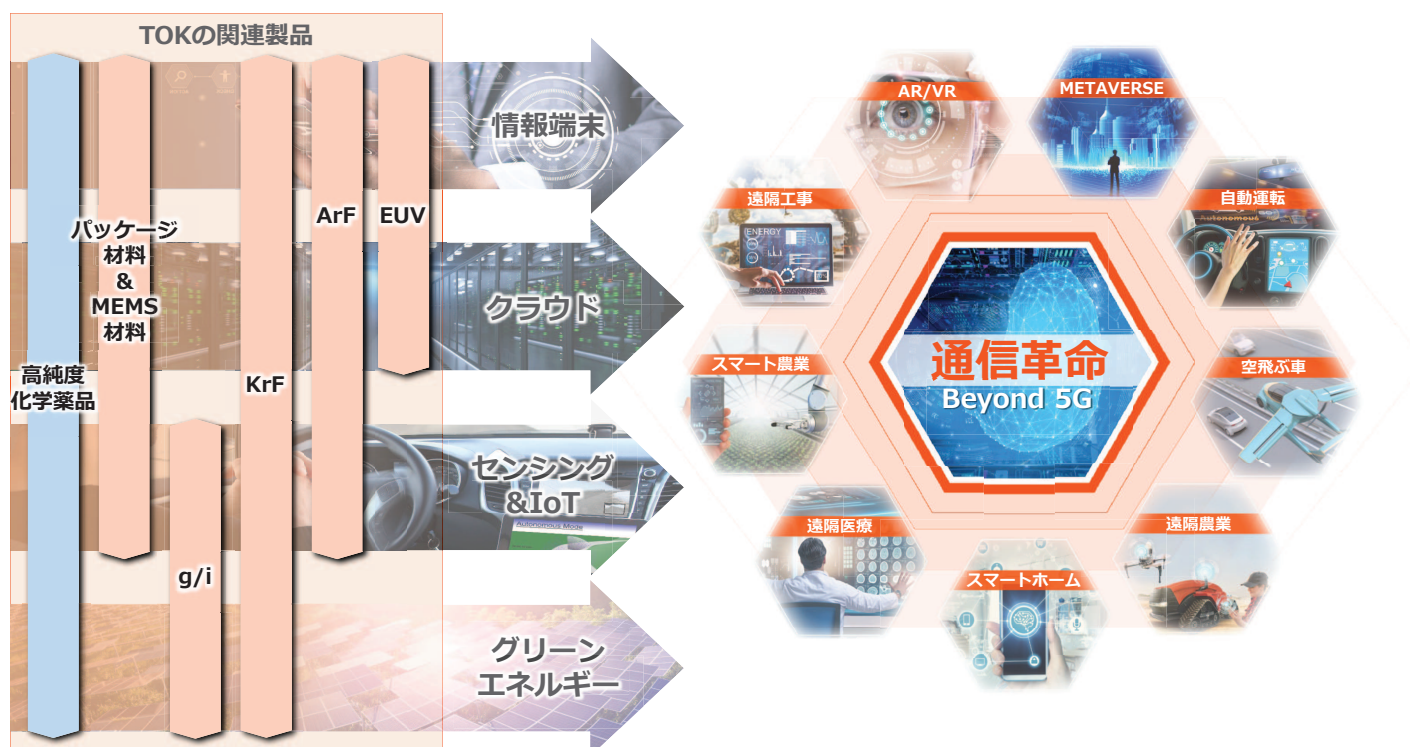
tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

2030年の社会 ～TOK Vision 2030～

17

想定した社会変化に4つの分野で貢献
更なる成長を目指す



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024 ポイント

TOK Vision 2030を実現するための中期計画

経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”

中期計画戦略

- (1) 先端レジストのグローバルシェア向上
- (2) 電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出
- (3) 高品質製品の安定供給とグループに最適な生産体制の構築
- (4) 従業員エンゲージメントを向上させ人を活かす経営の推進
- (5) 健全で効率的な経営基盤の整備



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

先端レジストのグローバルシェア向上 & 電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出①

	中期計画 取組み/目標	進捗状況
半導体前工程用 フォトレジスト (旧半導体用フォトレジスト)	高まる半導体需要に対して フルラインナップで販売拡大	先端レジスト : シェア拡大に向けた活動を推進 KrF : レガシー半導体を含む各種用途で シェア拡大 レガシー材料 : 車載半導体等で堅調に推移
半導体後工程関連材料 (旧高密度実装材料)	先端パッケージ技術に 迅速に対応した製品展開	パッケージ材料 : 先端パッケージ分野でのシェア 拡大に向けた活動を推進 MEMS材料 : 販売拡大に向けた活動を推進 WHS材料 : 新たなM&E戦略による拡販
高純度化学薬品	半導体プロセスの高度化と 需要増加に対して アジア・北米で販売拡大	シンナー : グローバルでの供給体制整備 洗浄液 : 新製品開発を継続 各地域でのシェア拡大
装置事業	市場ニーズに迅速に対応し 販売拡大を目指す	M&E戦略の発展を目指し、 AIメカテック社に事業譲渡。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

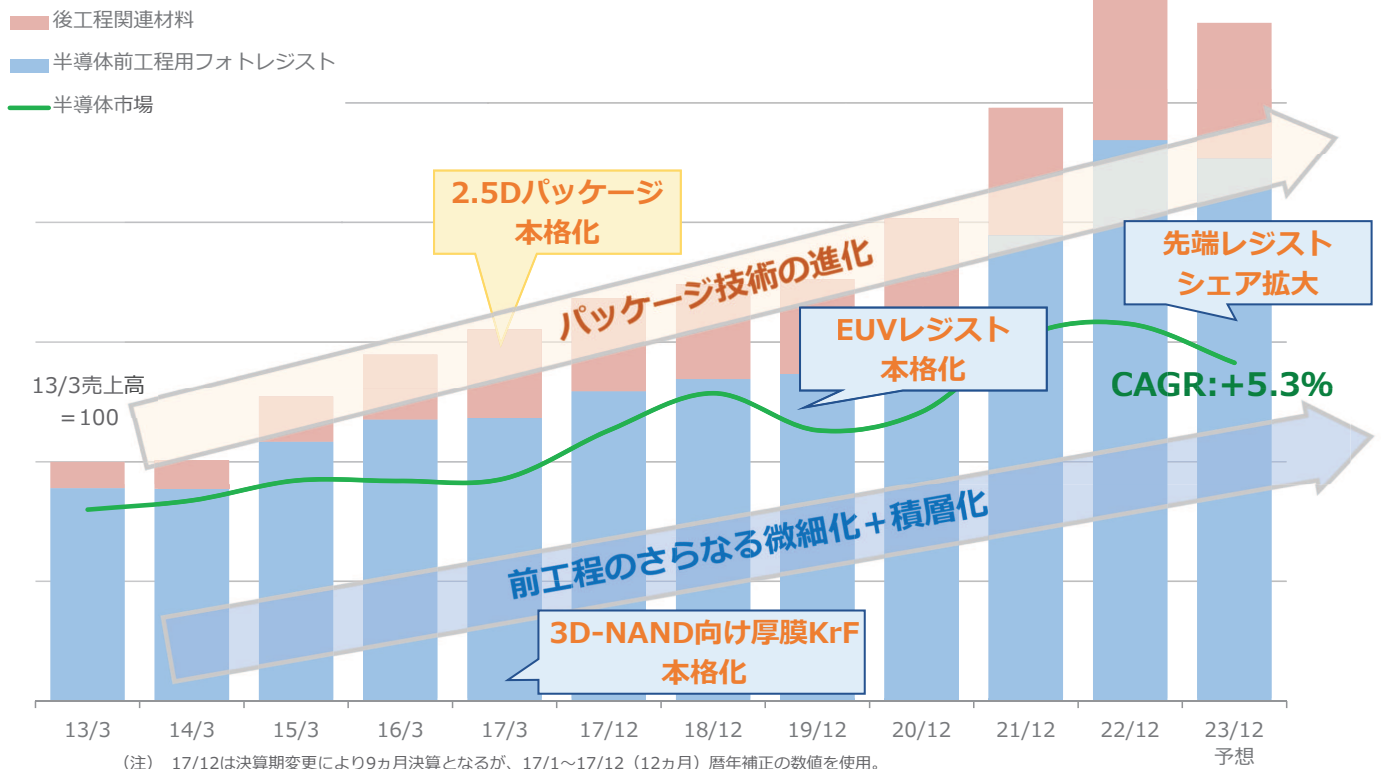
先端レジストのグローバルシェア向上 &電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出②

20

TOKの半導体前工程・後工程材料の成長率

TOKの

CAGR: +9.9%



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

高品質製品の安定供給と グループに最適な生産体制の構築①

21

将来の需要増加を見越した、生産体制強化を本格化

TOK先端材料株式会社(韓国)

- 生産能力の向上を可能とする品質管理の増強投資を実施。
- 2026年上期 稼働予定。
- 投資総額 70億円 以上(予定)



TOK/郡山工場(日本)

- 世界最高品質・高生産効率を実現する国内最大のフォトリソスト新製造棟建設を決定。
- 2026年下期 稼働予定。
- 投資総額 200億円 以上(予定)



TOK/阿蘇工場 阿蘇くまもとサイト(日本)

- 高純度化学薬品の新たな製造拠点を建設中。
- 2025年上期 稼働見込み。
- 投資総額 130億円 以上(予定)



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

海外の最適な高純度化学薬品の供給体制を整備

・台湾東應化社 苗栗工場
2023年3月譲渡

・長春應化（常熟）社
（CCOK）
2023年8月譲渡

長春石油化学
股份有限公司
（CCPC）

現像液・シンナー
の供給

原材料から製品まで
製造工程の一元管理

TOK group

TOKアメリカ社 (TOKA) TOKCCAZ社
2022年5月設立

台湾東應化社
（TTW）

上海帝奥科電子科技社
（TOK China）

TOK製品
の提供

顧客

品質管理、販売、顧客サポート、
新たな市場の開拓等

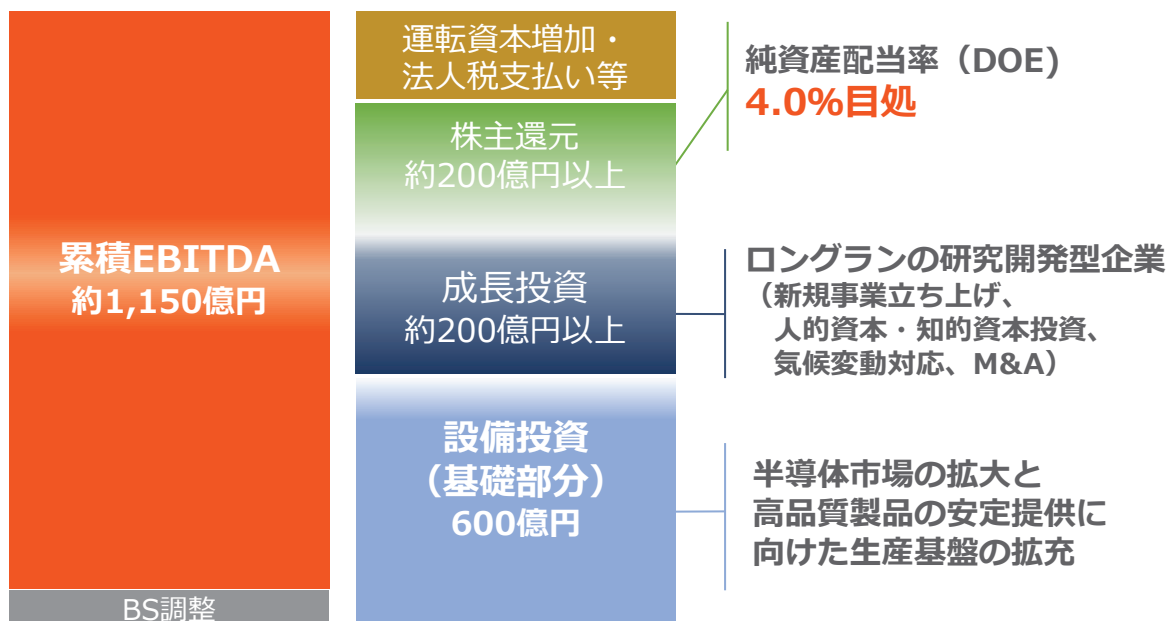
tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

今後の見通し（BSマネジメント推進）

創出したEBITDAは、将来の成長を見据え
設備投資に投下した上で機動的に株主還元に配分

3カ年キャッシュ・フロー計画（イメージ）

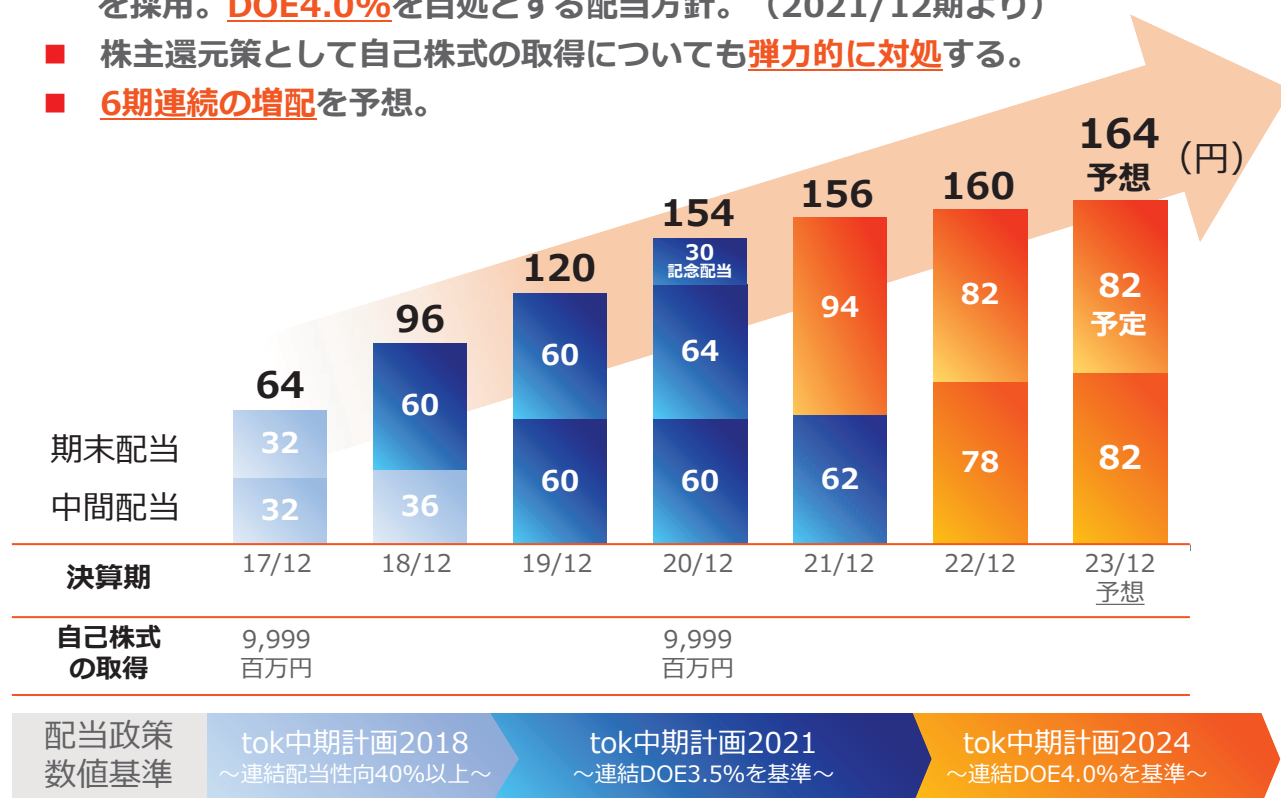


tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

健全で効率的な経営基盤の整備 <株主還元・配当の推移>

- 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として純資産配当率（DOE）を採用。DOE4.0%を目処とする配当方針。（2021/12期より）
- 株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する。
- 6期連続の増配を予想。

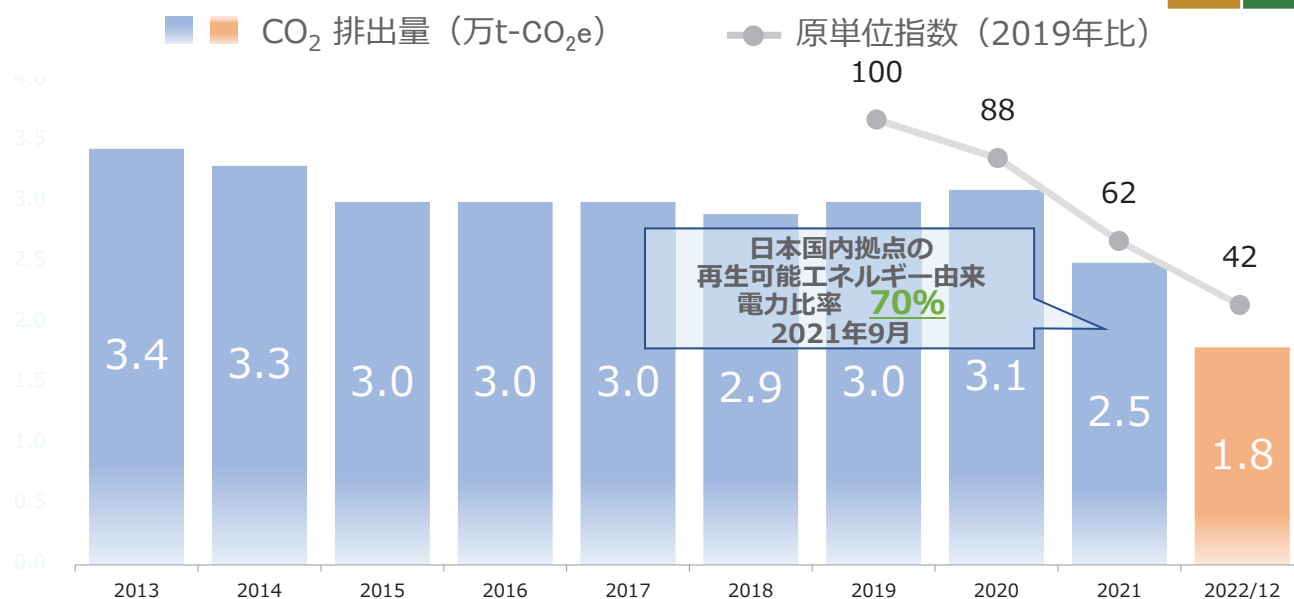


© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

ESGトピックス カーボンニュートラルの実現に向けて

CO₂排出量（エネルギー使用量から換算）*1.8万t-CO₂e

42原単位指数



* 単体および国内連結子会社のスコープ1および2で表示。

2023年1月より国内全主要拠点にて

100%再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え

www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

Appendix

tok

27
© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

比較貸借対照表

(百万円)

	2023/6	22/12末比
流動資産	130,434	△201
現金預金	55,993	+622
売上債権	31,435	△4,376
棚卸資産	34,254	+4,248
有形固定資産	69,599	+3,589
無形固定資産	1,380	+84
投資その他の資産	45,965	+5,832
流動負債	38,094	△2,686
買入債務	20,653	△963
固定負債	18,553	+2,219
純資産合計	190,732	+9,772
総資産	247,380	+9,304

建物及び構築物	+2,578
機械装置運搬具	△605
工具器具備品	△456
土地	+119
建設仮勘定	+1,947

投資有価証券	+4,737
--------	--------

支払手形及び買掛金	△963
未払法人税等	△1,387

繰延税金負債	+2,147
--------	--------

利益剰余金	+2,039
自己株式	+238
その他有価証券評価差額金	+3,249
為替換算調整勘定	+3,033

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

キャッシュフロー

(百万円)

	2022/6	2023/6
営業キャッシュフロー	+9,187	+8,987
税金等調整前四半期純利益	+15,264	+10,302
減価償却費	+3,152	+3,786
売上債権の増減額(△は増加)	△1,516	+4,127
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,509	△5,608
仕入債務の増減額(△は減少)	+1,921	△2,329
前受金の増減額(△は減少)	+64	+1,034
法人税等支払額又は還付額(△は支払)	△4,726	△4,102
投資キャッシュフロー	△788	△5,481
財務キャッシュフロー	△5,664	△3,998
換算差額	+2,498	+1,780
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	+5,232	+1,288

主な内訳	
有形固定資産の取得	△7,452
長期性預金の増減額	+1,000
事業譲渡による収入	+682

主な内訳	
配当金の支払(含む非支配株主)	△4,486

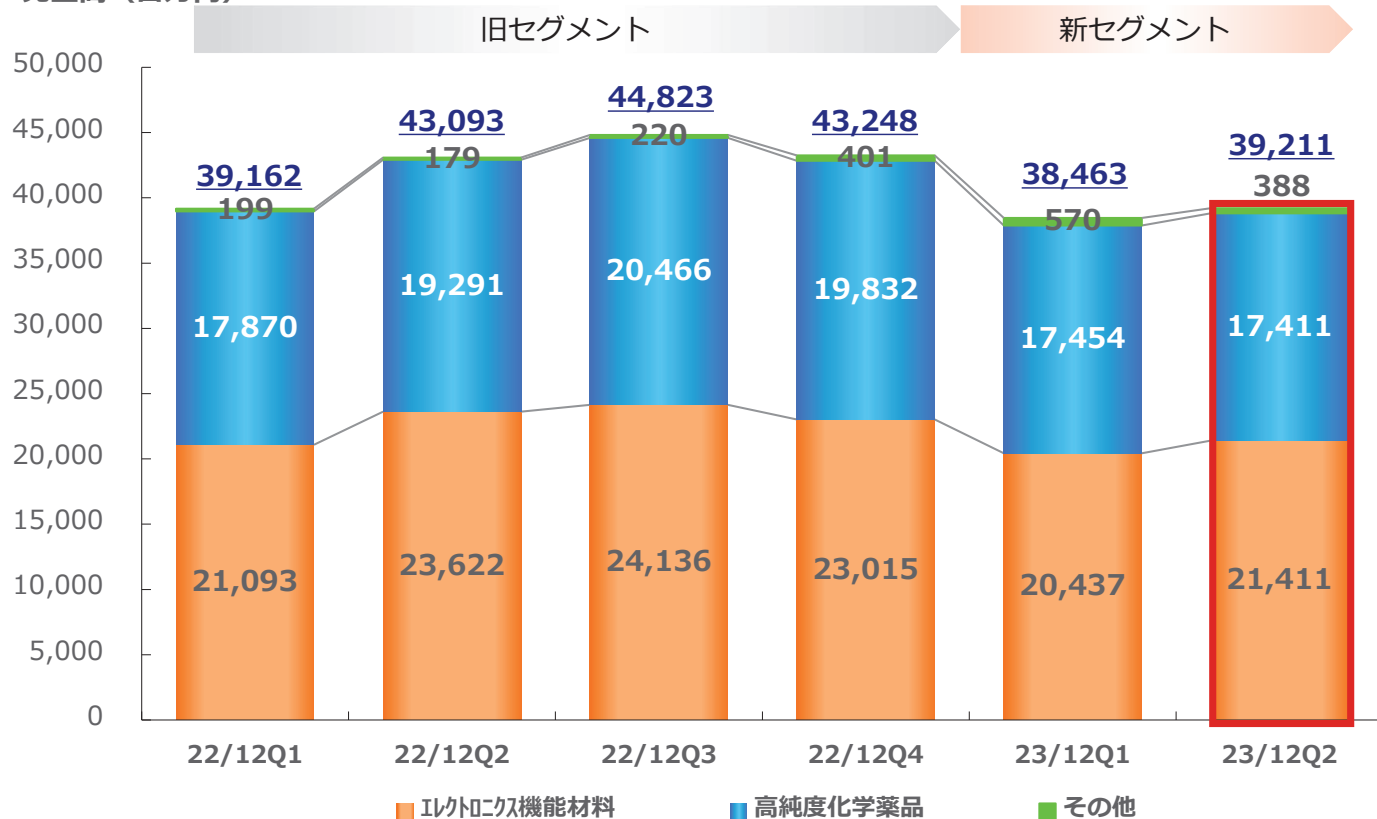
tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

売上内訳（部門別）

30

売上高（百万円）



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

tok中期計画2024（2022年2月15日発表）

31

「2030年に向けて “Boost up TOK!!”」

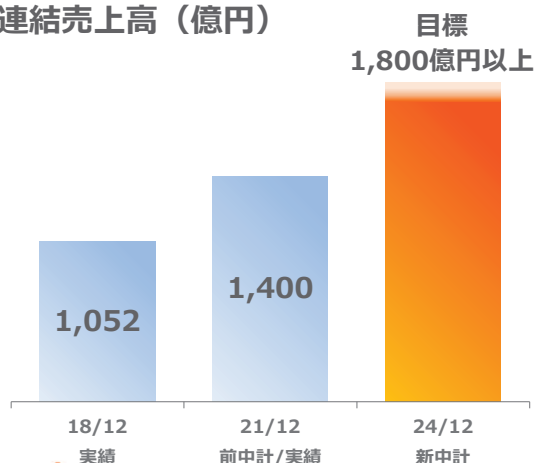
業績目標（2024年12月期）

連結売上高	1,800億円/年	以上
連結営業利益	270億円/年	以上
EBITDA	350億円/年	以上
ROE	8.0%以上を維持	

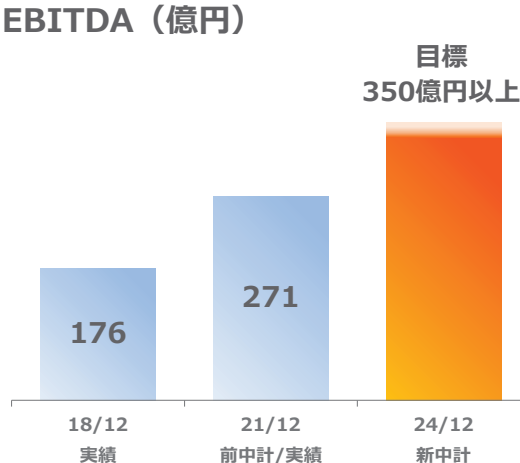
経営ビジョン（TOK Vision 2030）

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”

連結売上高（億円）



EBITDA（億円）



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.